

立岩(1265m)山行報告

【山行日】2016年11月20日(日) 晴れ
【集合】岩舟支所P AM 6:30
【費用】マイカー1台 : 2,200円
【メンバー】CL:大西 SL鈴木ユ、島田、
関、福田、藤原、渡辺

【コースタイム】岩舟支所P6:30=線ヶ滝登山口P
8:20/8:40~ガレ場下ベンチ 10:00~鞍部ベンチ
10:00~西立岩 10:30/10:40~威怒牟幾不動
11:55/12:25~線ヶ滝登山口P13:20=
道の駅「なんもく」13:50/14:15=
道の駅「しもにた」14:30/14:45=岩舟支所P16:15



今日の山『立岩』は11月6日に登った荒船山と尾根続きの山です。

上州の「ドロミテ」ともいわれる、岩壁の山を7人で登ります。朝6時30分出発し、コンビニに寄って必要なものを買って佐野藤岡ICから下仁田ICへ向かった。車は順調に進み前回と同様、道の駅「しもにた」でトイレ休憩をとった。登山口までの山道沿いにはカエデの紅葉が綺麗で、「もしかすると」と期待を持って向かった。



そんなに車があるなんて！何と駐車場は車でいっぱいです。線ヶ滝まで戻って邪魔にならないように、路肩に止めました。ここにはトイレも有り助かります。準備を整えてストレッチを済ませ、いよいよ歩き出しました。

最初の沢を渡る為つけられている橋は、木が濡れていて滑りやすい。安全の為沢に降りて、飛び石を渡って通過します。二つ目の橋は、気を引き締め慎重に渡りました。登山道も落ち葉の上を慎重に歩き、10分ほどで威怒牟幾不動への分岐に着きます。ここは右に折れジグザグに急登を登って行きます。頃合いを見て休憩し、衣服調整

します。雑木林の展望のない所を我慢の歩きが続く、ガレ場下のベンチはお勧めの休憩ポイントでひと休みします。ガレ場の急登になり、クサリが出て浮石がゴロゴロと多く難儀しました。“ラクー”“ラクー”と後ろから声が聞こえ、先頭は怖くないが、後ろの人達は怖い思いをしたことでしょう。SLから「蹴らないように歩け」と声が掛かり、慎重に落石としないよう登ります。雑木林に包まれた平坦な鞍部に着き、ここで小休止。ザックからおやつが出てホッとしながら周りの岩を眺め、東立岩も確認しました。ここから西立岩までは30分の予定、慌てず登って行きますが不明瞭な道となり左に進むが間違えたらしい。SLのスーさんが確認に戻り、「こっちに来て」と声が掛かり引き返します。そこから程なくベンチが現れもうすぐと確認できました。山頂は展望があり浅間山・八ヶ岳連峰・経塚山(荒船山)等々が見られ登った甲斐がありました。皆さんも想像以上に鎖場の難所が続く、やっと安堵の顔をして果物や菓子を食べていました。ここまではコースタイムを縮めて登っているようです。



その先のベンチからの眺めが良いとあるが残念ながらガスってきました。下りも難所が続き、クサリを使い急降下を慎重に降ります。鋭い岩を巻き二本の鎖が下がった垂直の岩壁



を登ります。やっと尾根歩きとなりホツ胸をなでおろし、木々は葉が無く『少し残っているといいのに〜』と後ろから聞こえるほど葉っぱが落ちてしまっていました。また雑木林の歩きになり、左に折れて威怒牟幾不動に向かいます。

大岩壁の下に祀られている祠は、1750年創建で大正初め頃までは参拝者も多かったとの事です。今は朽ちてしまって、近づくのも難しく遠くから見るだけです。前回と同様ベンチの置かれている東屋で昼食タイムとなりました。

温かい豚汁にお稲荷さんが配られて賑やかなランチタイムとなりました。お腹がいっぱいになったら

下山します。登山道が木の葉で隠れて歩きにくく、石や根っこに気を付けて安全第一と慎重に下ります。登山口にある、お勧めの「線ヶ滝」を見るのは省略して道の駅「しもにた」に向かいました。ここで思い思いに買い物をしてから家路に着きました。お疲れ様でした。

大西記